高校卒業程度（教養試験）　３問

衆議院と参議院の権能に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1．内閣総理大臣の指名は，衆議院のみが持つ権能であり，指名には衆議院における過半数の賛成が必要である。

2．内閣不信任決議は衆参両院が行うことができ，衆参両院でともに可決された場合，内閣は衆参両院を解散するか，総辞職することとなっている。

3．衆議院で可決された法律案が参議院で否決された場合，その法律案は，衆議院で出席議員の３分の２以上の多数で再び可決したときは，法律となる。

4．国の予算は，まず参議院で審議され可決された後，衆議院で審議がされ可決されると成立する。

5．憲法改正の発議は，衆議院と参議院それぞれの総議員の過半数の賛成で，国会が行う。

正答　３

窒素に関する次の記述ア～オのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

ア．窒素の単体は常温では化学的に安定である。

イ．窒素の単体は乾燥空気中に酸素に次いで多く含まれる。

ウ．窒素はグルコース（ブドウ糖）やデンプンの主要な構成元素である。

エ．液体窒素は冷却剤として用いられる。

オ．窒素を酸素と反応させるとアンモニアが生じる。

1．ア，エ
2．ア，オ
3．イ，ウ
4．イ，エ
5．ウ，オ

正答　1

ある箱に入っている赤玉と白玉の個数の割合は１：２である。いま，１回につき赤玉３個と白玉４個をまとめて箱から取り出すことを何回か行ったところ，赤玉は全部なくなり，箱には白玉だけが22個残った。このとき，最初に箱に入っていた赤玉は何個か。

１．30個
２．33個
３．36個
４．39個
５．42個

正答　２